



シャインパール

WORLD. RICE

速報
No. 7

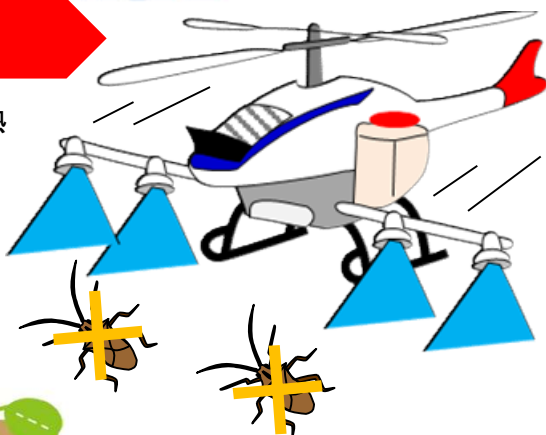


JA福井県

出穂期到来！カメムシ防除の準備を！！

近日、梅雨が明け本格的な夏が到来します。例年に増して高温登熟およびカメムシの多発による被害が懸念され、今後の管理で品質・収量の良し悪しが決まります。

基幹防除ときめ細やかな水管理が特に重要となりますので、あらためて作業計画を確認し確実に適期に行いましょう。



1. JA生育調査状況（7月17日現在）



- ◆ 4月26日植えの調査圃では、7月14日に出穂期を迎え、今後は登熟期に入っていきます。
- ◆ 福井や嶺南の4月下旬植えの圃場でも出穂が確認出来ました。
- ◆ 茎数も確保され、千粒重を確保するため葉色を確認し、淡い場合は実肥を検討しましょう！

2. 基幹防除

各地区の生育調査圃において、多数のホソハリやクモヘリ等大型カメムシが確認されています。斑点米防止に向け基幹防除を実施しましょう！

回数	防除時期	散布目安
1回目	穂揃期	出穂の3～5日後
2回目	傾穂期	1回目の7日後
3回目	仕上げ（適宜）	2回目の7日後

斑点米カメムシ発生注意報発令中



- 発生時期
7月下旬
- 発生量
平年より多く
前年よりやや多い
前年の約1.4倍

3. 水管理の重要性

幼穂形成期以降は、新しい根が形成されなくなり、現状の根を生かさなければなりません。圃場の乾かしすぎで地割がおきると根が切断され、稲体の活力が低下します。出穂後の圃場やこれから出穂を控えている圃場では、間断通水管理を実施して土壤水分を保ちましょう。

また、今後は台風の発生によるフェーン現象が懸念されます。暖かい風の影響で、稲体からの水分蒸散が増加しますので、一時的に深水管理にして、台風通過後は落水し間断通水管理に戻して下さい。

防除薬剤の準備と
適期防除をしましょう！